

「いのちとは何か、生きるとは何か」

いまなぜ生き方塾なのか

下村満子の「生き方塾」開塾記念公開フォーラム

基調講演

下村満子 塾長

Profile Mitsuko Shimomura

ジャーナリスト。元「朝日ジャーナル」編集長。医療法人社団「こころからだの元氣プラザ」前理事長。前「福島県男女共生センター」館長。慶應義塾大学経済学部卒。ニューヨーク大学大学院修士課程終了（経済学専攻）。1965年に朝日新聞社入社後、「週刊朝日」記者、朝日新聞ニューヨーク特派員、「朝日ジャーナル」編集長、朝日新聞編集委員を歴任。その間、中近東、アメリカ、ヨーロッパ、中国、旧ソ連等に特派され、数々のスクープ、内外のビッグインタビュー、世界各国のルポルタージュなどに取り組み、次々発表、ポーン上田国際記者賞を女性で初めて受賞。その後日本翻訳出版文化賞受賞。同年、ハーバード大学ニーマン特別研究員に招聘され、ジャーナリズムの研究を深め、1994年フリーのジャーナリストに。日米関係、国際問題、経営論、政治、教育、医療、男女共同参画問題、少子高齢化問題、ジャーナリズム論、生き方論など、幅広い分野をカバーしている。同時に両親の事業を引き継ぎ、財団法人東京顕微鏡院理事長に就任、続いて医療法人社団「こころからだの元氣プラザ」を設立、理事長に就任、21世紀の新しい医療を目指す経営に携わる。2002年、ジェンダーに着目した女性医療の分野での貢献が認められ、米国コロンビア大学医学部からアテナ国際賞を授与される。他に役職多数。



パネルディスカッション

〈パネラー〉
下村満子 塾長

村上和雄 先生

Profile Kazuo Murakami

筑波大学名誉教授。財団法人国際科学振興財団理事・バイオ研究所長。京都大学大学院博士課程修了。筑波大学応用生物学系教授を経て現職。日本学士院賞などを受賞。『生命の暗号』『アホは神の望み』『スイッチ・オンの生き方』『こころと遺伝子』『遺伝子オンで生きる』など著書多数。



中森じゅあん 先生

Profile Kazuo Murakami

日本算命学協会代表。バイオシンセシス研究センター（海外支部）副所長バイオシンセシス・ボディサイコセラピスト。中国最古の星占い（鬼谷算命学・きこくさんめいがく）をマスターし、プロとしてカウンセリングをはじめ20年余り。また、ライヒ派のボディセラピーである「バイオシンセシス」のトレーナーとしても活躍。鬼谷算命学（クロワッサン特別編集 新装版）中森じゅあんの算命学入門はじめ、超ベストセラー「天使のメッセージ」（シリーズ）など著書多数。



紺田英哉 先生

Profile Hideya Taida

秋田国際教養大学理事・特任教授。
（社）才能教育研究会（スズキ・メソッド）常任理事など。
東大卒業後、丸紅に入社。丸紅英国会社社長、丸紅経済研究所会長などを歴任。
2002年英国エリザベス女王よりCBE受賞。



中原儀子 先生

Profile Noriko Nakahara

代替医療CareTaker。17歳の時に、医師から病宣告されたことが、ボランティア活動に携わる原点となった。以降30数年にわたり、様々な悩みを抱える人たちと歩みを共にし、「愛のケア活動」をライフワークとして展開。近年ではCAMU Net（カムネット：代替補完医療者のネットワーク）の中心メンバーとして、多くのカウンセリングにつとめている。平成8年には北軽井沢にケア施設をひらき、心の傷や病気を抱えた人達のためにつとめている。東京都出身。著書に「愛は全ての原動力」、「愛は医療の原動力」、「愛は命の原動力」（共にKKロングセラーズ）、「愛、生きるいのち」（廣済堂出版）がある。



それぞれの分野で日本超一流の専門家が、かけつけてくださいました。